

勿来工業高等学校建築科OB会 事務局だより

発行日 平成25年4月1日
発行所 いわき市石森二丁目1-13 事務局 千葉良司
TEL 0246-35-0631 FAX 0246-35-0632
発行部会 勿来工業高等学校 建築科OB会
会長 福富大祐

執行部会 平成24年5月9日(水) 18:00~20:00
いわき市平 労働福祉会館 会議室 10名

議題 総会内容提案と検討、総会・懇親会の役割検討
講演会のテーマと講師についての検討
(元勿工建築科教諭 富樫要次様を事前に検討済み)
雨の降る中、平、小名浜、鹿島、錦等から執行部員が集まり10名の参加者によって会議が行われました。総会に必要な活動報告と次年度に向けての計画等を審議し、また講演会の講師とテーマについても話し合いました。講師となる富樫要次先生への期待とOB会創立20年の節目とすることもあり、多くの会員に参加を呼びかけたいという意見が多く出ました。2時間に及ぶ会議を終え、総会の盛況と成功を祈願して執行部会を閉会しました。5月12日に福富、千葉、鈴木忍で富樫先生宅へ訪問し、正式に講師の依頼を要請しました。



北郷 哲夫 3 小林 仁 5 福富 大祐 7 川内 一浩 8 千葉 良司 10
渡邊 久 11 佐藤 敏男 12 志賀 正敏 20 四家 康正 21 佐藤 則之 31

総会 平成24年6月23日(土) 16:00~21:00
いわき市平 ワシントンホテル

OB会会長 福富大祐 7回生 挨拶

OBの皆様には、総会にご出席いただき、まことにありがとうございます。今年は昨年と違って、例年通りの日程での開催となりました。また、OB会も、今年の卒業生で48回生をOB会に迎え、会員数も現在1800余名となりました。新入会員の皆様には、心から入会を歓迎するものであります。さて、昨年三月には東日本大震災が発生し、津波や大地震の被害に加えて、福島第一原子力発電所の放射能問題、そして様々な業界にわたっての風評被害など、かつて経験したことのない歴史的な困難に遭遇し、早くも一年以上が経過いたしました。会員の皆様も、それぞれの立場や職責でこの状況乗り越えられ、今日、こうして集うことができますことを、本当に嬉しく、また、力強く感じるところであり、あらためて御礼申し上げます。さて、母校勿来工業も被害にあいましたが、学校側や同窓会の奮闘により、現在は仮設併用での授業体制ですが、近々、本校舎が建設されることになっております。あらためまして、この震災は不幸な出来事ではありましたが、現在もその影響は続いておりますけれども、確かにマスコミ等が連日報道し、様々な被災援助のキーワードとなった「絆」という、「自分を取り巻く家族や友人、そして地域の大事さ、ふるさとのかげがえのなさ・・・」という、これらのことの再認識もまた新たな一歩ではなかったかと、今思い直しているこの頃ではあります。そして、このOB会の存在もまた平時には目立たないものではありますが、かけがえのない、私たち個人個人が社会に巣立つ元となった、人生の絆の一端であろうと思います。昨年の総会での発議で、今日は総会後に富樫先生の講演をお願いしております。勿来工業建築科の創生の時期のお話をこの時期に伺えることは、私たちの今後いろいろな示唆をいただけるものと思っております。楽しみにしております。また、今年は例年以上に、欠席される会

員の皆様から、励ましや通信やコメントをいただいております。あらためて、会員相互の目に見えない繋がりといいませんか、やはり「絆」を感じるものとしてご紹介させていただきます。会員の皆様の普段からの、OB会へのご厚情に感謝しつつ、総会開催の挨拶といたします。



↓ 総会 執行部員と議長(渡辺久)



↑ 懇親会 校歌合唱 富樫要次先生講演会 ↑

今回は、午後4時から1時間刻みで総会、講演会、懇親会という日程で集まらせていただきました。受付の時に総会資料を配り、懇親会の会費を集金しそして参加者全員の写真を撮りました。総会では会長の挨拶後議長の進行により、事業・決算報告、次年度事業予定・予算等の審議を行い、問題も無く可決され終了することができました。その後事務局からの連絡として、総会の出欠のはがきが事務局に届きますが、そのはがきの通信欄に書かれたメッセージの紹介をしました。総会に出席できない会

員の中で個人的に皆さんに伝えたい内容が書かれてあり、それを今回皆さんに伝えたいという思いで事務局がまとめ参加者に配布し、その中から抜粋して紹介しました。今回の日程の2つ目は、今年81歳を迎えて元気な元建築科長の富樫要次先生の講演会がありました。内容は先生が勿工に就任する前の清水建設に在籍していたときの話になりました。沖縄でアメリカ人を相手に米軍基地内に建設した当時の体験談を聞くことができました。勿工時代では、最初に受け持ったクラスが2回生でその当時の高校生活も聞くことができました。そして今回の出席者の特徴は54名中2回生が10名いたことでした。今回の総会に校長先生や同窓会長を含め、こんなにたくさんの会員が集まっていたことに感謝いたします。受付で撮った写真は後に似顔絵にしました。

執行部会 平成24年10月24日 水 18:00 ~ 20:00
いわき市平 労働福祉会館 会議室

10月24日労働福祉会館において2回目の執行部会を開催しました。執行部員9名の参加により、主に6月に行われた総会について話し合いが行われました。今回で20回目を無事終えることが出来、益々発展するよう努力を怠らないことを確認しました。また次年度は役員改選がありますが執行部員の構成についても話し合いが行われました。約2時間の話し合いを終え会議室を退出し、居酒屋へ移動し懇親会を行いました。



北郷 哲夫 3 小林 仁 5 福富 大祐 7 千葉 良司 10 渡邊 久 11
高原 典宏 14 鈴木 忍 16 四家 康正 21 佐藤 則之 31 出席者 9名

新年会 平成25年2月9日(土) 17:00~19:30
ホテル ミドリ(植田町)



榎田 常雄 1 鈴木 正吉 1 北郷 哲夫 3 小林 仁 5 嵐 繁雄 6
志賀 利光 7 福富 大祐 7 西妻 正一 8 川内 一浩 8 平子 恵俊 9
小野 真人 10 千葉 良司 10 渡邊 久 11 高原 典宏 14 鈴木 忍 16
四家 康正 21 佐藤 則之 31 出席者 17名

会員の親睦を深めるために各回生の幹事の皆さんに年賀状で連絡をして新年会に集まっていたいただいております。今年は17名の参加がありました。会長の挨拶と事務局からの今年度の行事日程等の連絡をして、そして新年会となりました。宴会の中で、ある話題に集中しました。この新年会の次の日に行われる第4回サンシャインマラソンに出場する会員がいるということでした。そして励ましに新年会参加者からカンパがあり、当人は新年会後、2次会、3次会に参加し次の日にマラソンに参加して見事42kmを好タイムで完走したようです。カンパの資金は後日事務局に届き、「OB会に役立ててください」と寄付されました。11回生の渡辺久さん、御苦労さまで、そして寄付ありがとうございました。

設計コンペ 平成25年2月17日 日 15:00 ~ 17:00
審査会 いわき市鹿島町久保 エルトマ



2月17日鹿島町のレストラン、エル・トマにて3年生の卒業設計作品の審査会を行いました。選者は5名の会員によって行いました。35作品の中から入選が予想されるものとされないものに振り分け、その中で最優秀賞から特別賞まで選び出し10点を約2時間を費やして選出することができました。その後、会場がレストランの2階ということもあり食事をしながら反省会を行いました。

嵐 繁雄 6 福富 大祐 7 千葉 良司 10 高原 典宏 14 佐藤 則之 31

設計コンペ表彰式 平成25年2月28日 木 13:00 ~ 14:00
及び入会式 勿来工業高等学校 3年教室
福富大祐 千葉良司 高原典宏

平成24年度勿来工業高等学校建築科第18回卒業設計コンペ			
課題	地域に残る建物~		
参加者	3年(50回生 平成25年3月卒業生) 全員35名		
最優秀賞	氏名	出身中学	題名
優秀賞	佐藤 菜緒	植田東	光の差す図書館~Park of all~
	加藤 咲樹	勿来一	Manalani劇場~aloha~
佳作	鈴木 美波	植田東	Ageless beauty fashion
	新妻 舞	錦	CRUCIFORM*病院
	吉田 太樹	小名浜一	テニスがでる図書館
特別賞	石塚 梨沙	錦	憩いの図書館
	大槻 愛美	小名浜一	ハウオリ保育園
	白岩 未悠	勿来一	本好きの人たちが集まる店
審査委員	薄井 達也	泉	人が集まるデパート
	大越 淳平	小名浜一	小名浜に密着する美術館
		嵐 繁雄 6	福富大祐 7 千葉良司 10 高原典宏 14 佐藤則之 31



入会式及び設計コンペ表彰式は、毎年卒業式の前日に行います。建築科OB会入会式の直前には3年生全員が体育館に集まり、そこで同窓会の入会式があります。それを終えてから3年教室に戻ってそして、OB会の入会式と設計コンペの表彰式を行います。福富OB会会長から卒業する生徒へ花向けの挨拶がありました。その後、事務局よりOB会の会則や会費の運営費の詳細を説明し、会費の半額を全員から受け取ったことを報告しました。また今年からOB会員となる新しい会員の住所や連絡等を記入して頂きました。最後に設計コンペの表彰式を行いました。結果は上記の通りです。入選から外れた生徒にも参加賞が渡されました。作品の内容については高原典宏さんから講評がありました。作品はA1ケント紙を縦向きに使用し、手書きが16名、CADが19名。入選作品はCADがほとんどでしたが、1名手書きでの入選がありました。